

社会に踏み出す！

5 エピソード

地域デビュー

中学2年生の武は、父親と母親との3人家族です。お父さんは仕事の関係で出張が多く、近所付き合いもあまりありません。そんな家庭で育った武は、小さい頃には引っ込み思案でしたが、中学生になるとたくさんの友達が出来て、楽しく中学校生活をおくっています。

夏休みが近いある日の夕方、学校からの帰り道、近所に住む浩一との会話です。

武 「暑いなあ・・・もうすぐ、夏休みだね」

浩一 「休み中の予定、なにかある？」

武 「今のところ、別にないよ。」

浩一 「8月に、町内会で夏祭りがあるんだよ。」

ぼく、毎年、準備や夜店の手伝いしてるんだけど、武くんも一緒にやらないか？」

武 「でも、ぼく、近所の人の名前とか顔、あんまりわからないしなあ。子どもやお年よりも、おおぜい

来るんだろ？実は、今まで、近所の人たちと話した経験ないんだよ。ぼくにできるかな？」

浩一 「そうか・・・でも、少し考えてみてよ」

武は、その日の夕食時に、両親に相談しました。

武 「浩一くんに祭りの手伝いを誘われたんだけど・・・」

この後、お父さんとお母さんは、武と話し合いをしました。



- 1 エピソードの話の続きを考えてみましょう。あなたの家庭では、どのような話し合いになるでしょうか。グループで話し合いましょう。

メモ：

- 2 あなたの家庭では、子どもの地域活動についてどのように考えていますか。グループで話し合いましょう。

メモ：